

市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

2003年

11

月号

平成15年10月25日発行
通巻59号

特集 NPO法人アスペルゲルデの会三重支部「ピカリン」の活動について

軽度発達障害、高機能自閉症などという言葉に耳にされたことがありますか？全体的な知的能力は、標準またはそれ以上なのですが、衝動コントロール、コミュニケーション、学習(読み・書き・計算)などの、部分的な能力の発達が伸び悩んでしまう、脳の器質的障害のことです。

集団生活、特に学校場面で、友達と上手くいかない、授業が理解できない、教室を飛び出してしまう、自分のやり方にこだわって周囲にあわせられない、などの不適応行動がしばしば取りざたされるようになりました。

今までこれらの障害を持った子ども達は、しつけが悪いとか、変わった子として見過ごされてきました。しかし、幼少時から、周囲が子どもの障害を理解して、伸び悩んでいる能力に積極的に適切な方法で援助をすることで、問題行動は減少し、就労や社会的に自立することが可能であることがわかってきました。

「NPO法人アスペルゲルデの会」は、発達障害を持った子ども達を対象とした、地域発達支援システムです。当事者である本人や家族が、主体的に運営に取り組み、地域社会の中での(軽度)発達障害児の発達支援活動、関係者などへの啓発、研究、専門家の養成などを通して、発達障害児者が必要な支援のなかで就労し、自立していける社会を作っていく一翼を担いたいと、統括ディレクターの辻井正次先生(現中京大学助教授)、顧問の杉山登志郎先生(現あいち小児保健医療総合センター保健センター長)が中心となって設立されました。三重支部「ピカリン」は、現在会員数13名の団体です。臨床心理士などの専門家による専門的支援を親たちの運営の元で行い、小中学生は月2回の学習会(津市内)、年6回の例会で、一人の子どもに一人のボランティアスタッフが付き添い、楽しみながら学習やソーシャルスキルトレーニングを行っています。また、教員対象のセミナーや個別相談も行っており、学齢期、思春期、成人期など、加齢に伴って変化する問題に随時対処しています。活動の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://homepage2.nifty.com/aspergermie>

【特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は4団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPOチーム及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

認証申請団体(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地(平成15年9月16日~平成15年10月15日申請分)
(1)明昇会(2)中村明見(3)津市安東町2476番地/(1)居宅支援介護ほほえみ(2)田中智香子(3)津市南が丘4丁目14番地4/(1)居宅支援システムまごの手(2)山本泰之(3)尾鷲市栄町2番2号/(1)伝統工芸体験センターIN IGA秋生(2)大谷明穂(3)上野市長田字南西浦3574番3

成立した特定非営利活動法人(登記年月日)(平成15年9月16日~平成15年10月15日届出分)

特定非営利活動法人 TEAM笑美S(えびす)(平成15年6月16日)/特定非営利活動法人 全日本カイロプラクティック認定学会(平成15年8月28日)/特定非営利活動法人 朝明川川ネッサンス(平成15年9月30日)

【みえ県民交流センター運営委員会からのお知らせ】

センター運営委員会では、以下の日程で委員会を開催します。参加は自由ですので、多くの方のご参加をお待ちしています。

とき/11月6日(木)PM7:00~PM9:00

ところ/みえ県民交流センター交流スペース(津市羽所町700アスト津3階)

内容/(1)センターでこんなことをやっています情報 新たな情報提供システム・市民プロデューサーの企画・ジョイントセールと喫茶コーナー(2)これからやること提案(3)その他

ボランティアコーディネーターってなんだ?? (5) 野村希代

ボランティアコーディネーターには、イベントや研修会、ボランティアプログラムの組み立てなど、さまざまな場面で企画を立てる能力が必要となります。前々回にも書いたコーディネーター研修会の第3回目では、「企画・発想力を磨く」というテーマで実施しました。私もコーディネーター研修会をはじめ、毎年数回の研修会やイベントの企画を立てますが、いつも悩むことは、そのときの受講者や社会のニーズに合っているのか、去年と同じにならないかということです。他のコーディネーターも、やはり同様の悩みを抱えているようです。今までいろいろな研修会やイベントを実施してきたのですが、参加者が思うように集まらなかったり、逆に多すぎて講座の流れをうまく作れなかったり、たくさんの失敗をしてきました。でも、そんな中でもうまくいったなという実感があったのは、仕事上の会話の中から、仕事を離れたときの雑談の中から、こんなことに困っている、こんなことを悩んでいるという声をもとに実施したときでした。コーディネーターには、普段の会話や飛び交う情報を「ふん、そうなの」で済まさない、鋭い感性が必要なのだと実感しています。そして、いつでもその情報を使えるように、整理しておくこと(私、これが苦手だ...)ととても大切なんですね。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

発行

514-0009

津市羽所町700番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981

Fax.059-222-5971

E-mail seiknpo@pref.mie.jp

NPOチームのホームページ

<http://www1.mienpo.net/npot>

三重県のホームページ

<http://www.pref.mie.jp>

市民活動ニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバリス3階)/オルウェイズ(津センターバリス1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/(有)デザインオフィス秋野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市黒瀬町1323-4)/鳥羽NPOネットワークセンター(総(鳥羽市鳥羽1-3-8)/市民活動共同センター(桑名市中央町1-8 東和ビル内)/四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)/アミ・ノット・スペース内(特)地域づくり考房みなど(四日市市川原町26-13)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウイリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(上野市福居町3317番地)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)/松阪大学(松本市久保町1846)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会

【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店

【行政機関等】三重県庁民ホール/津市広明町13/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県女性センター/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

イベントスケジュール

NPO法人ラポール第8回研修会

「くたびれている自分や押し潰されそうな自分をいたわり癒すこと」

とき / 11月2日(日)AM10:00 ~ 正午
ところ / 津センターパレス2階津市市民活動センター第1会議室 (津市大門7-15)
内容 / まず、自分を守りましょう。気がつかないうちに、自分を見失っているかもしれません。ゆとりある対応をするため、リラクゼーションを体験しませんか。講師は臨床心理士の杉野健二さんです。
・問い合わせ先 / 津市南中央6-6 NPO法人ラポール Tel.& Fax.059-223-3456(第2・4月曜日AM10:00 ~ PM1:00) 丹波 Tel.&Fax.059-256-2003

「これからの地域福祉を考える」県民討論会

～地域福祉計画づくりに向けて～

とき・ところ / PM6:30 ~ PM9:00
11月4日(火) 四日市庁舎6階大会議室
11月6日(木) 上野庁舎7階大会議室
11月10日(月) 津庁舎6階大会議室
11月11日(火) 尾鷲庁舎5階大会議室
11月12日(水) 伊勢庁舎会議棟2階大会議室
内容 / 地域福祉を推進するための計画策定づくりにあたり、地域におけるこれからの福祉コミュニティづくりなどについて、皆さんの声を聴かせください。討論は参加者主体のグループ討議方式です。
申込方法 / 電話、Fax、E-mailで。
申込・問い合わせ先 / 514-8570 津市広明町13 健康福祉部地域福祉チーム(担当:森西、山川) Tel.059-224-2256 Fax.059-224-2270 E-mail fukushi@pref.mie.jp

三重環境県民会議の支援内容の説明会と意見交換会

とき・ところ / PM7:00 ~ PM9:00
(紀北はPM6:00 ~ PM8:00、紀南はPM1:00 ~ PM3:00)

桑員	11月5日(水)	桑名庁舎付属棟1階第2会議室
四日市	11月6日(木)	四日市庁舎本館2階第23会議室
鈴鹿	11月4日(火)	鈴鹿庁舎1階第11会議室
津・安芸	11月5日(水)	津庁舎本館6階第65会議室
松阪・多気	11月4日(火)	松阪庁舎3階第31会議室
伊勢志摩	11月7日(金)	伊勢庁舎会議棟3階第5会議室
伊賀	11月6日(木)	上野庁舎4階第4会議室
紀北	11月3日(月)	尾鷲庁舎行政棟3階第301会議室
紀南	11月3日(月)	三重県熊野庁舎5階第9会議室

内容 / 県内の環境NPOに、支援内容を説明します。終了後、参加団体交流の場としても、活用ください。なお、県民デーの説明も併せて行ないますので、県民デー参加団体は、ぜひ参加してください。
・問い合わせ先 / 510-0304 河芸町大字上野3258番地 (財)三重県環境保全事業団内 三重環境県民会議事務局 (高橋康三、中嶋信弘、奥山邦雄) Tel.059-245-7512 Fax.059-245-7518 E-mail kenmin@mec.or.jp ホームページ http://www.mec.or.jp/kenmin/

E-mail ud@pref.mie.jp
ホームページ http://www.pref.mie.jp/ud/hp/

みえ市民キャンパス21 三重大学人文学部20周年記念事業

地域力の向上をめざす市民のネットワークづくり

～違いを認め合う市民たちの絆!～
とき / 11月8日(土)PM1:00 ~ PM4:30
ところ / アスト津3階イベント情報コーナー(津市羽所町700)
内容 / 子どもの虐待や中高年の自殺などの背景には、多くの人々が孤立し、そのSOSを受信できない地域社会の現実があります。その一方で、地域社会づくりに活躍する方たちが、冬の大地から若芽が吹くように、いろいろな姿で登場しはじめています。その芽が育った時、人々が自立しながらも互いを支え合う、そんな地域社会が姿を現すのではないのでしょうか。ぜひ、経験や情報を交換しましょう。
問い合わせ先 / 樹神 成(三重大学人文学部) Tel.059-231-9184
麻野雅子(三重大学人文学部)Tel.059-231-9173
森西宏巳(健康福祉部地域福祉チーム)Tel.059-224-2256

津友の会主催☆家事家計講習会

とき・ところ / いずれもAM10:00 ~ 正午
11月8日(土)ポルタ久居多目的研修室(近鉄久居駅ビル3階)
11月18日(火)津友の家(津市半田尺目高松山団地内)
11月21日(金)千里ヶ丘公民館(河芸町千里ヶ丘)
参加費 / 300円 託児200円(要予約・託児食付)
内容 / 教育費の山を迎える40代の家計実例発表の他に、(衣)たくさんあっても着る身はひとつ(食)小さな工夫で豊かな食卓(住)すっきり暮らす3つの急所についてお話しします。
問い合わせ先 / 山本 Tel.059-229-5343
西 Tel.059-225-4931
津友の家 Tel.059-225-9150(昼間)

第②回身元保証制度・任意後見制度セミナー

とき / 11月15日(土)AM10:00 ~ PM12:30
ところ / 三重県総合文化センター生涯学習センター2階視聴覚室
参加費 / 1000円(資料代)
内容 / 内容は高齢者・障害者の身元保証について。病院・福祉施設・住宅に関して一般・生活困窮者・生活保護受給者の身元保証。身元保証と後見人制度の実践的活用の仕方。
募集人数 / 150人 申込方法 / 電話予約
申込・問い合わせ先 / 津市西丸之内21-19丸の内ジャスティス3階 NPO法人日本ライフコンサルタント協会
Tel.059-228-2229 Fax.059-228-2297

青春キネマ館

『幕末太陽傳』

とき / 11月15・16日(土・日)AM10:00 ~ 1日1回上映
ところ / 進富座(伊勢市 Tel.0596-28-2875)
参加費 / 1000円(市民活動・ボランティアニュース持参で800円に割引)
内容 / 青春キネマ館は懐かしい日本映画を映画館で見てもらおうという企画です。今回は川島雄三監督が放つ日本映画史上最高の傑作喜劇『幕末太陽傳』を上映。フランキー堺、石原裕次郎など、出演陣も豪華。なお、託児(1人200円)は事前申込みが必要です。
主催・申込・問い合わせ先 / 青春キネマ館&キッズシアター実行委員会 Tel.0596-28-4109またはTel.0596-23-0839 (受付時間PM7:00 ~ PM10:00)

遺伝子組み換え作物(食品)の現状を知ろう

次々に崩れる安全神話と経済性、基本的な問題点を置き去りの危険な開発競争
とき / 11月16日(日)PM7:00 ~ PM9:00
ところ / みえ市民活動ボランティアセンター 交流スペース (津市羽所町700番地 アスト津3F) 参加費 / 無料
内容 / 遺伝子組み換え作物、食品は、健康への影響だけでなく、自然の生態系への影響、さらには国内生産者が安全な食材を提供するさまたげになる可能性があります。今回は、遺伝子組み換え作物や食品について国内外の情報を収集・抜粋し、ホームページ「遺伝子組み換え情報室」で公開している河田昌東さんをお招きします。
遺伝子組み換え情報室ホームページ
http://www2.odn.ne.jp/cdu37690/index.htm

県民講座

UDのまちづくりシリーズ

「情報のUD(ユニバーサルデザイン)」

とき / 11月8日(土)PM1:30 ~ PM4:30
ところ / 伊勢市生涯学習センター いせトピア3階研修室 (伊勢市黒瀬町562番地12) 参加費 / 無料
内容 / 三重県では、だれもが自由に社会参加できるユニバーサルデザインのまちづくりを進めています。今回は「情報のユニバーサルデザイン～だれもが参加できる社会へ～」という演題で、ユードット代表取締役社長であり、UDNJ(ユニバーサルデザインネットワークジャパン)理事長である関根千佳さんにお話をいただきます。
申込方法 / 申込書をハガキにて郵送またはFaxするか、電話、E-mailにて。三重県電子申請・届出システム(http://www.shinsei.pref.mie.jp/)からも申込可能。(この場合は、11月4日締切)
主催・申込・問い合わせ先 / 514-8570(住所記載不要) 津市広明町13 健康福祉部ユニバーサルデザインチーム
Tel.059-224-3349 Fax.059-224-2340

申込・問い合わせ先 / 513-0801 鈴鹿市神戸1-22-27
たねとりくらぶ三重(種取まさみ) Tel.090-7696-0206
Fax.0593-83-6377

まちのファンクラブ11月交流会は長島町に集合! - ずいごう塾の仲間との交流会です -

とき / 11月22日(土)PM6:00 ~ PM8:30
ところ / 輪中の郷
(長島町大字西川1093番地 Tel.0594-42-0001)
参加費 / 会員300円 一般500円

内容 / 今年ほど、農産物の不安定さを感じた年もありませんでしたが、それでも、収穫の秋。地元の旬の食材を使った一品を食べながら、交流しましょう。当日は、ずいごう塾・甘藍倶楽部・地産地消運動などの活動を紹介しながら、食、農、町について、たくさん口を動かしてください。新鮮野菜の販売も行います。

申込・問い合わせ先 / 桑名市中央町1-8 東和ビル2F みえきた市民活動センター内 まちのファンクラブ事務局
Tel.0594-27-2700 (平日PM1:00 ~ PM3:00)
Fax.0594-27-2733 E-mail miekita@mie-kita.gr.jp
ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

科学技術振興センター テクノカレッジ 第3回なるほど・なっとくセミナー

とき / 11月22日(土)PM1:30 ~ PM3:30
ところ / アスト津3階イベント情報コーナー(津市羽所町700)
参加費 / 入場無料(事前予約不要)

内容 / 科学技術振興センターが日頃取り組んでいる研究や科学技術について、県民の皆さんにわかりやすく解説します。今回は「三重の『食』にこだわってみよう」を主題とし、「伊勢うどん」「栽培植物の多様性保存と新品種の育成 - イチゴ育種を中心として」「三重の牛肉は「なぜ」おいしい」の3つ。詳しくはホームページまで。

問い合わせ先 / 四日市市桜町3690-1(鈴鹿山麓研究学園都市センター内) 三重県科学技術振興センター総合研究企画部 研究評価グループ Tel.0593-29-3623 Fax.0593-29-8017
ホームページ <http://www.mpstpc.pref.mie.jp/>

ドリームゲート三重起業支援イベント「起業の新しいカタチ」

とき / 11月23日(日)PM1:00 ~ PM4:30
ところ / みえ県民交流センター3F イベント情報コーナー
参加費 / 無料(資料が必要な方は事前申込が確実です)

内容 / 「ドリームゲート」は経済産業省の独立・起業支援プロジェクトです。今回はNPO、企業組合、1円有限会社(確認有限会社)など、いろいろな企業形態の紹介、企業組合の制度(三重県中小企業団体中央会)・NPOの制度(生活部NPOチーム)についての説明のほか、NPOの労務問題や助成金の申請、1円有限会社の設立方法・運営について説明します。また、別ブースにて個別相談を行う予定です。

【ドリーム・ゲートサービス】
NPO、法人の方、起業を考えている方、「みえ起業支援ネットワーク」のホームページから会員登録(無料)すると、全国の弁護士・税理士・行政書士・社会保険労務士などに無料でメール相談できます!(抽選でポップ・サップグッズ、プレゼント中!)

申込・問い合わせ先 / E-mail npomie@egroups.co.jp(できるだけメールで) みえ起業支援ネットワーク代表中小企業診断士 村岡浩 Tel.0594-23-9850
ホームページ <http://homepage1.nifty.com/atlas/>

ブラジル交流イベント

とき / 11月23日(日・祝)AM10:00 ~ PM4:00
ところ / 四日市市立笹川東小学校、笹川東公園、西公園

内容 / 1973年11月7日に結ばれた三重県とブラジルサンパウロ州との姉妹提携30周年を迎えて開催します。遠い国ブラジルのことをもっと身近に感じることができるよう、県民のみなさんと一緒に智恵を出し合いながら、協働で開催します。当日はブラジル料理、サッカー、サンバ、よさこい、カボエイラ、地震体験、ピング大会、パネル展示、ファッションショー、パザーなど楽しいイベントを行います。

申込・問い合わせ先 / 三重県生活部国際チーム
Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984
E-mail kokusai@pref.mie.jp

和紙美術折り紙教室作品展

とき / 11月26日(水) ~ 30日(日)AM9:00 ~ PM:10:00
(開始日は正午から。終了日は正午で終了)

ところ / アスト津3階 みえ県民交流センター
内容 / 私たちは「折り紙」大好きな仲間です。温かみのある美しい和紙を使って、季節の風物や花、昔話などを折り紙で表現しています。教室で学んだ作品をご覧いただければ幸いです。なお、展示期間中、11月28日、29日の2日間はAM10:00 ~ PM3:00、会場で来年の干支などを折っています。無料ですので、お気軽にご参加を。
主催 / 「みえ社会保険センター」菩提寺流和紙美術折り紙教室

「みえ健康福祉フェスタ」(みえハートフェスタ2003)

とき / 12月6日(土)AM10:00 ~ PM5:00
7日(日)AM10:00 ~ PM4:00

ところ / メッセウイング・みえ(津インター近く) 参加費 / 無料
内容 / 県民の健康や福祉への関心を高め、地域住民や様々な団体等が出会い、その交流をひろげ、交流から協働を創出することによって、豊かで暮らしやすい地域社会づくりへの契機とするため開催します。健康・福祉の間口を広げて衣・食・住・遊・学・憩・働・考・行と人間が人間らしい暮らしを地域社会の中で探し求めることを具体化する展示・体験・学習・遊び・憩・癒しのゾーン等を設けます。

申込・問い合わせ先 / 津市丸之内17-11 岡林西ビル1階 NP O法人市民福祉ネットワークみえ内 みえハートフェスタ2003実行委員会 Tel.059-229-0880 Fax.059-229-4880
E-mail s.hukusi@juno.ocn.ne.jp 主催 / 三重県

川づくり会議みえ(活動案内)

【第4回勉強会】阪内川魚道見学会 & 懇親会

とき / 12月20日(土)時間未定
ところ / 阪内川(松阪市)
参加費 / 無料(勉強会のみ参加の場合)
内容 / 様々なタイプの魚道を見学します。勉強会終了後、懇親会を兼ねた忘年会を予定。

【第5回勉強会】室内勉強会 河川整備・管理について

とき / 平成16年1月16日(金)PM6:00 ~
ところ / アスト津(予定)

【第6回勉強会】川のワークショップみえ

とき / 平成16年2月15日(日)AM9:00 ~ PM5:00
ところ / 三重県庁講堂(予定)

内容 / 川のワークショップは、市民(団体)と行政がそれぞれに取り組んでいる川での活動や事業を募集し、公開で発表、評価し、「いい川」の具体像を見つけ出そうとする試みで、全国各地で徐々に始まっています。このワークショップは、1.市民(団体)と行政相互の交流や、スキルアップ。2.パートナーシップによる「いい川」づくりの促進。3.市民(団体)と行政相互の「川の将来像」の共有化などをめざします。現在、実行委員さん、発表団体・個人を募集中です

申込・問い合わせ先 / 514-0009 津市羽所町700アスト津3階みえ市民活動ボランティアセンター 気付 私書箱4号
川づくり会議みえ Fax.059-222-5971
E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp(久世)



ネットワークのよびかけ

スペシャルオリックスを、共に支えてくれませんか?

スペシャルオリックス(SO)とは、知的発達障害のある人たちに、日常的なスポーツ・トレーニングとその成果の発表の場である競技会を提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。SOはすべてボランティアの手によって運営されます。スポーツプログラムに参加してくださるボランティア(コーチ)はもちろんのこと、活動の準備、PR、そして会場の提供や備品の援助など経済的な支援(賛助会員:年間個人1口3000円、企業1口10000円)も、ボランティアで成り立っています。とくに経験が必要というわけではありません。自分のできることをできる範囲で参加していただけます。

問い合わせ先 / スペシャルオリックス日本・三重設立準備委員会 Tel.080-3615-8006 Fax.0593-94-4121

E-mail special_mie@hotmail.com

ホームページ <http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Sakura/1246/som.htm>

「みえの中心市街地活性化NAVI」ホームページ

かつてのにぎわいを失った中心市街地で、にぎわい復活に取り組んでいる人たちがいます。まち並みの再生、空き家・空き店舗の活用、商店の逸品開発、地域通貨の流通、イベントの開催など、取り組みの内容は多彩ですし、担い手も地域住民、事業者、NPOなど様々ですが、みんな「まちを良くしたい」という思いでがんばっています。三重県庁の中心市街地活性化グループでは、ホームページ「みえの中心市街地活性化NAVI」で、まちのにぎわい復活に賭ける様々な取り組みを紹介しています。主な内容は、次のとおりです。1. まちの活性化のためにがんばっている取り組みの紹介 2. まちで開催される祭り、イベントなどの開催案内や参加者募集案内 3. 国や県の支援制度の紹介



また、がんばっている取り組みの情報も募集しています。問い合わせ先 / 514-8570 津市広明町13番地 三重県庁6階 農林水産商工部まちの活力づくり支援チーム 中心市街地活性化グループ Tel.059-224-2451 Fax.059-224-2482 E-mail machis@pref.mie.jp ホームページ <http://www.pref.mie.jp/MACHIS/HP/>

日曜だけのフェア・トレード喫茶 ☆☆☆

フェア・トレードのコーヒー、チャイ(スパイス入りミルクティー)、ハーブティーをお楽しみください。オーガニックチョコレート、ドライフルーツ、カレーのほか、クリスマス小物、ユニセフカードも販売。とき / 11月2日～12月21日の毎週日曜日AM10:30～PM4:30 ところ / アスト津3階交流スペース 問い合わせ先 / フェアトレードコーナー抱(はぐみ)石井りか Tel.0593-78-0407

助成金 ニュース

トヨタ財団市民活動助成

受付期間 / 11月20日(木)消印有効
助成の対象となる団体 / 日本国内に拠点を置く市民団体(法人格の有無は問わない)団体の活動実績が2年を越えることを原則とします。
助成の対象となる活動 / テーマは「市民&NPO～新しい公共の創造へ向けて」。「市民としての自治の形成」に役立ち、地域や社会の変革につながる波及性の高い計画や試みを対象とします。とくに、市民が主体となった制度づくりや新たな社会的事業に向けた取り組みを期待します。
応募方法 / 応募用紙はプロジェクト用(出版を除く)と出版用の2種類があります。「プロジェクト」出版それぞれ希望の項目を明記し、送料分の切手(1部のみ...普通郵便200円、速達郵便470円。2～3部...普通郵便390円、速達郵便760円)を同封し、11月13日(木)までに下記へ応募用紙を請求するか、ホームページよりダウンロード。応募用紙は簡易書留にて送付。
問い合わせ先 / (財)トヨタ財団市民活動助成係 163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階 私書箱236号 Tel.03-3344-1701 ホームページ <http://www.toyotafound.or.jp/>

新日本友の会

受付締切 / 11月30日(日)
助成の対象となる団体 / 身体障害者及び知的障害者の福祉に関する事業を直接営む団体。
助成の額 / 30～100万円(1件)
応募方法 / 電話にて連絡を取り、必要書類を入手。
問い合わせ先 / 新日本友の会(担当:山田敦子) 108-8005 東京都港区港南1-8-15 Wビル17階 Tel.03-5495-2784 Fax.03-5495-2785

WWF ジャパン自然保護助成

受付締切 / 11月30日(日)消印有効
助成の対象となる団体 / 日本国内で自然保護活動を行っている団体・個人。(WWF会員が活動に参加していることが望ましい)
助成の対象となる活動 / 自然保護のための調査研究・普及教育・保護活

動など。応募分野は「沿海洋生態系の保全」「淡水生態系の保全」「森林生態系の保全」「有害科学物質の削減」「生物多様性の保全」「エネルギーと気候変動」。

対象事業の期間 / 平成16年4月1日～平成17年3月31日
助成の額 / 200万円まで。
応募方法 / 申請書は下記に問い合わせるか、ホームページからダウンロード。応募はメールまたは郵送。
問い合わせ先 / (財)世界自然保護基金ジャパン(担当:榎田雅之) 105-0014 東京都港区芝3-1-14 日本生命赤羽橋ビル6F Tel.03-3769-1772 Fax.03-3769-1717 E-mail masayuki@wwf.or.jp ホームページ <http://www.wwf.or.jp/>

日本水大賞

受付締切 / 11月30日(日)
対象となる団体 / (1)学校(2)企業(3)団体(NPOや公益法人など)(4)個人(5)行政、個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍など不問。
対象となる活動 / 水環境系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下の分野における諸活動。(1)水環境(2)水資源(3)水文化(4)水防災。青少年研究活動賞に応募する場合は(1)～(4)に関係する調査研究、および調査研究にもとづいた実践的活動。
応募方法 / 応募用紙は切手(160円)を貼り、送付先を記入した返信用封筒(A4版の入るもの)を同封して郵送するか、ホームページからダウンロードして入手。応募方法は送付または持参。
問い合わせ先 / 日本水大賞顕彰制度委員会事務局(社)日本河川協会内) 102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.Kビル3階 Tel.03-3238-9771 Fax.03-3288-2426 E-mail taisyo@japanriver.or.jp ホームページ <http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>

連合・愛のカンパ

受付締切 / 12月1日(月)必着
助成の目的 / 日本労働組合総連合会より、草の根団体の基盤整備を目的として、団体立上げおよび新規サービス事業立上げのための準備金を提供。
助成の対象となる団体 / 新規にホームヘルプ、移送、宅老(ミニデイ)配食サービス、子育て支援などを行う団体・グループで、平成14年12月1日以降発足、もしくは具体的に設立準備に入っている団体・グループ。
助成の額 / 一団体上限10万円、総額400万円。
応募方法 / 郵送。申請書類など、詳細はお問い合わせを。
問い合わせ先 / (財)さわやか福祉財団市民・連合ボランティアネットワークプロジェクト(担当:久保、原島、木原) 105-0011 東京都港区芝公園2-6-8日本女子会館4階 Tel.03-5470-7751 Fax.03-5470-7755

キリン福祉財団

受付締切 / 12月1日(月)消印有効
助成の対象となる団体 / 地域福祉活動を目的とする民間団体。法人格の有無不問。
助成の対象となる活動 / 地域における子育て支援ボランティア活動。
助成の額 / 総額2000万円。1件あたり上限は30万円。
応募方法 / 郵送にて応募。申込用紙は下記に請求するか、ホームページからダウンロード。
申込・問い合わせ先 / (財)キリン福祉財団事務局 104-8288 東京都中央区新川2-10-1 Tel.03-5540-3522 Fax.03-5540-3525 ホームページ <http://www.kirin.co.jp/foundation>

アジア知的交流助成

受付締切 / 12月1日(月)
助成の対象となる団体 / 次に掲げる各国・地域のいずれかに所在する非営利団体(大学、研究所、非営利公益団体、NGO/NPO等)
(1)東アジア地域:韓国、中国、モンゴル(2)東南アジア地域:インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東チモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス(3)南アジア地域:インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルジブ(4)日本:国の機関及び特殊法人等の政府関係機関は対象外。ただし、学術研究グループ等は対象となります。
助成の対象となる活動 / アジア地域における知的交流の推進を目的とした、国際的な共同作業。国際会議、ワークショップ、セミナー、研修等が対象。アジアセンターが現在取り組んでいる重点テーマは次のとおり。

(1)多様性の理解と共生に資する取組み (2)域内共通課題解決のための取組み (3)社会の平等と開放に資する取組み

対象事業の期間 / 平成16年4月～平成17年3月実施分

アジア文化協力助成

受付締切 / 12月1日(月)

助成の対象となる団体 / 上記【アジア知的交流助成】と同じ各国・地域のいずれかに所在する非営利団体(大学、研究所、図書館、資料館、美術館、博物館、非営利公益団体、NGO/NPO等)とし、個人からの申請は受付ません。助成の対象となる活動 / アジア地域における文化協力を目的とした、国際的な共同作業。国際会議、ワークショップ、セミナー、研修等を対象。

対象事業の期間 / 平成16年4月～平成17年3月実施分

アジア市民交流助成

受付締切 / 12月1日(月)

平成16年5月6日、9月1日にも募集あり。

助成の対象となる団体 / 日本国内の非営利団体・グループ。

助成の対象となる活動 / 日本とアジア諸国との間の相互理解を目的とし

て実施される市民レベル・地域レベルの交流事業。

対象事業の期間 / 平成16年4月～平成17年3月実施分

... ..

応募方法 / いずれの助成も申請要領などはホームページからダウンロードするか、各問い合わせ先に連絡。

問い合わせ先 / 独立行政法人 国際交流基金アジアセンター

107-0052 東京都港区赤坂2-17-22

ホームページ http://www.jpf.go.jp/j/region_j/asia_j/index.html

【アジア知的交流助成】

知的交流課 Tel.03-5562-3891 Fax.03-5562-3898

【アジア市民交流助成】

国内事業課 Tel.03-5562-3892 Fax.03-5562-3897

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858 ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

まちのファンクラブ

510-0068 桑名市中央町18東和ビル2階

Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733

E-mail fanclub@mie-kita.gr.jp ホームページ

<http://www.mie-kita.gr.jp/>

桑名地区

ちょっと前のこととなりますが、まちのファンクラブの9月の交流会で、大安町の「SAIYAIの会(国際交流)」のみなさんと一緒に、モハマダ・イクバルさんたちがつくってくれたおいしい本場インドの手作りカレーを食べながら雑談していたとき、大安町の三岐鉄道丹生川駅前に日本初の「貨物鉄道博物館」ができますよという話がありました。

この博物館の目玉のひとつ39号機関車は、100年以上も前のイギリス製蒸気機関車で、東京都豊島区の昭和鉄道高校で大切にされてきたのですが、校舎改築で保存が不可能となっていたのを三岐鉄道さんが引き取り、貨物鉄道博物館に展示を行うことになりました。この貨物鉄道博物館は、鉄道保存協会を幹事団としたボランティアスタッフが運営の中心を担っていくとのこと。自分の得意なことを活かして楽しむ場所をまちに見つけた人たちがここにもいるのだなと思って話を聞いていました。この博物館、基本的に毎月第一日曜日に開館しているということです。

<http://www.sangirail.co.jp>

博物館といえばもうひとつ、この桑名・員弁1市8町でも「まちかど博物館」がこの秋に69館オープンします。「まちかど博物館」は、個人のコレクションや伝統の技・手仕事などを、一般の方にそれぞれの自宅や店舗などで公開するものです。館長さんの長年

培った技への思いや、コレクションへのこだわり、地域への愛着、熱い思いなどが最大の魅力です。人と人とを結び、人と人のふれあいの場として、桑名地域のまちづくりの多様な可能性に繋げていきます。』とのこと。これも各館長さんと、市町村や県の担当者で「桑名まちかど博物館推進委員会」全体の運営を行っているのだそうです。お近くにおいでの際はぜひみてはいかがでしょうか。問い合わせ先(みえきた市民活動センター内同委員会 TEL0594-27-2700)



そのまちかど博物館の担当者も参加していたのですが、県民局10人、みえきた市民活動センター関係者10人、NPOチーム4人ほどで、「市民の視点による県の事業評価」、「桑名員弁地域生活創造圏事業の中間見直しの住民ワークショップ」というふたつの「協働提案」について、先日北勢県民局桑名庁舎で意見交換会を行いました。先月号でも少しお話ししましたが、この地域の生活創造圏事業が「RDFインパクトを地域づくりに活かす」という組み立てなので、RDF事故により関連の圏域づくり事業がストップしている現状をなんとかしようと、市民として県に提案をしたところです。お返事やその後のやりとりはこれからですが、8月のソーイング(東員)とのまちのファンクラブ交流会でも半分以上がその話でしたし、市民発のとり組みのひとつとして、きちんと説明できる「協働」として進めていきたいと思っています。

北勢地区

特定非営利活動法人 地域づくり考房 みなと 常務理事 辻本晴美

Tel.0593-46-4581 Fax.0593-50-0203 E-mail kobominato@yahoo.co.jp

お知らせです

「地域づくり考房みなと」はいま、2つのことに取り組んでおります。ひとつは、津市市民活動センター、明和町市民活動サポートセンター、(特)犬山しみんていの会さんなどいっしょに、支援センター交流フォーラムを開催します。

***各地で、NPOや市民活動のための支援センターが相次いで開設されています。

支援センターへの市民の期待・要望は大きいと思います。その存在が、真に市民に役立つ存在になるためには、そして周りの人たちが手をつないでいくための方法は...

課題はいろいろ...一緒に考えてみませんか***ということで大いに盛り上がりたと思っています。これは、今年1月に犬山市で1回目が開かれました。岐阜、三重、愛知三県でぐるぐる開催していければいいなと思っています。

【「支援センターのめざすもの」めざすものとそのための資金】

とき / 11月16日13:30～18:00

ところ / 四日市大学 コミュニティカレッジ(近鉄富田駅から大学までマイクロバス運行します。バス代往復400円)

参加費 / 1000円

パネリストは、論客ぞろい。福岡から加留部貴行さん、愛知県から金田学さん、コーディネーターに武長脩行さんを迎えて、じっくりこれからの市民参加について議論を交わします。「みなと」からは、代表の海山裕之が参加します。詳しくはお問い合わせください。(Tel.090-1566-8921 辻本)

もうひとつは、県との協働事業です。「みなと」はいままで何回かNPOマネジメント講座を開催してきました。そのなかから感じていることは、みんなで、よりよい方向を探っていく努力がいっそう必要だということです。みんなで、考えるには情報の共有ということが一番に挙げられると思いますが、その情報をどう収集してどう活用するのか?これをみんなで考えるための場の設定を各地の中間支援団体と協力して作っていかうと思います。目新しいことではありませんが、地道に継続していくことが大事だと思っています。

なにをどう工夫していけば効果があがるのか?いままでは、「みなと」の中で、どうしたらいいのかを検討してきたのですが、たくさんの方の視点をあつめて、蓄積されたノウハウを駆使(?)して、実のある事を展開したいなと思っています。こちらのほうは、来年1月の開講に向けて準備中です。

W.T.Aまちづくりセンター情報 No.18

〒518-0866 上野市山王町3045-1
 Tel: 0595-24-9612・090-3302-0627
 Fax: 0595-22-0072 伊勢: 中室 3F
 E-MAIL: wa@wta443@ezweb.ne.jp

みなさんの情報を活かしてみよう...

10月17日(月) 18:30~
 鳥原社協にて

上野社協、阿山社協、伊賀町社協と連携し、今年度は鳥原へ会場を移します。先月は、子育ての秋祭り、コーポレートイベント、などなど盛りだくさんでした。11月の活動も、いろいろな方々のご参加を期待しています。ぜひ、お越しください。

11月10日(日) 18:30~
 上野市市民活動センターにて

11月10日(日) 18:30~
 上野市市民活動センターにて

ボランタリー市民活動センター
 相談員ミニ交流会
 当センターと社協と鳥原の急NPOの協働で進めています。今、11月の活動も、このお祭りや、何となくの時間です。お楽しみにご参加下さい!!

11月10日(日) 18:30~
 鳥原社協にて

上野社協、阿山社協、伊賀町社協と連携し、今年度は鳥原へ会場を移します。先月は、子育ての秋祭り、コーポレートイベント、などなど盛りだくさんでした。11月の活動も、いろいろな方々のご参加を期待しています。ぜひ、お越しください。

11月20日(日) 18:30~
 上野市市民活動センターにて

カラ-BOXの「コマイイ」で、フリーマーケットをします。11月2000円まで、メンバー募集してあります。小さな子供も、お友達を誘って、ぜひお越しください。お友達を誘って、ぜひお越しください。

11月10日(日) 18:30~
 鳥原社協にて

上野市市民活動センターにて

11月20日(日) 18:30~
 上野市市民活動センターにて

11月20日(日) 18:30~
 上野市市民活動センターにて

11月20日(日) 18:30~
 上野市市民活動センターにて

11月20日(日) 18:30~
 上野市市民活動センターにて

南勢地区

■メイキング・オブ・伊勢市民活動センター——来年の本格始動を目指して、只今進行中! (稼働中!)

市民と市職員による検討会議で考える市民活動センター「検討会」終了。出された案を元に、条例案が作られます

●市民有志による準備会と、担当職員とが共に進めてきた検討会も最終回を迎えました。最終会議の内容は...

【第6回/10月】「センター運営方針 案」を最終検討

4月から続けてきた、この検討会のまとめ(記録)と「市民の思い」を、報告書として提出することになりました。まずは市民有志による準備会で、これまでの会議で出された意見や、それぞれの市民活動への思いを出し合い、提言書案(たたき台)を作成。できたものを第6回検討会で、意見交換をして、検討会から市に提出する提言書の内容として合意。提言書が完成しました。

□今後のスケジュールは?

その提言書を元に、現在、検討会と一緒に参加してきた市のワーキンググループ内で条例素案を検討、作成しています。10月中には庁内政策調整会議に素案を提出し、条例最終案が作成。そして完成した条例は12月の議会に提出されるのです。

☆検討委員会では、つくられた条例案に自分たちの意見がどのように反映されているのか、できあがる前に確認したい、と申し入れました。これは、検討会で条例の元となる話し合いをしたのだから、最後まで責任を持って、市民メンバーが条例に対して意見を出せるような機会を持って、これまでにない「市民と行政が一緒に作ったセンター条例」にしたい、という思いです。その思いも聞き入れていただき、条例づくりが今、進められています。

今後は、新たに利用団体を中心に運営サポート的組織「運営委員会(仮称)」を立ち上げ、いよいよ本格稼働へとステップアップです!

このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会が担当しています
<http://www.po-npo-n.com>

伊勢市民活動センター(仮称) 準備事務局の最新情報!

■2階が会議室として使えるようになりました

9月から2階がフリースペースとして使えるようになりました。20名程度の会議ができるフラットなスペースです(写真)。

利用できるのは登録団体だけです。今年度中は登録も、利用も無料です。使用後は、掃除し、備品の原状復帰を。(備品として会議机6台があります)



■担当職員が交代しました

また、9月26日から担当職員が新人、西川(女性)さんに交代し、常勤しています。市民活動に関する活動情報を随時募集中。センターまでお寄せ下さい。

※尚、開館時間内の施設への出入りはフリー。市民活動の情報展示がされているので、情報収集などに利用を。

【伊勢市市民活動拠点施設設置準備事務局】
 住所 伊勢市岩淵1丁目2-29 伊勢シティープラザ南館
 電話 0596-20-4385
 開館日 月曜~金曜(祝日、年末年始は除く)
 時間 午前9時~午後5時

※お問合せは...伊勢市 市民交流課 Tel.0596-21-5549まで

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。大安中学校にテクニカルボランティア部を設立しました出口省吾さんからバトンが渡ったのは宮川村にある大杉谷自然学校の事務局長である、大西かおりさんです。

環境教育の拠点「大杉谷自然学校」

……大杉谷自然学校の活動を教えてください。

一口に言えば、環境教育です。内容は「子ども自然体験活動」、「大人の自然体験活動」、「あと」自然保護活動、もやっています。これらの活動を通じて、地域にもっと目を向けてほしい。自然について深い視点を持って欲しいと考えているのがうちの特徴です。

……イベントは年間を通して行われているのですか？

私たちではイベントという言葉は使わず、プログラムと呼んでいるのですが、1年中実施しています。でも、事業が多いのは、やっぱり夏ですね。1年目にプログラムを40本行い、参加者が約1200人だったのが、去年は68本、2085人に増えました。参加者は名古屋の方もいましたし、多いのは津や松阪、伊勢の方ですね。

……子どもの自然体験活動のことを詳しく教えてください。

孫さんキャンプというプログラムがありますが、去年の夏は「幻のサバ鮎の謎」というタイトルで、行いました。昔、宮川村には鯖くらの大きさの鮎が上ってきたそうです。でも、今ではほとんど上がってこない。それはなぜなのか、子どもたちが地元の人に聞き取り調査や伝統漁法体験を行いました。地元の人たちも、突然、話を聞きに行っても喜んで話をしてくれますし、時には昔ながらの木造の舟を出してくれることもありました。その他、「よづけ」という昔の釣りや「しゃくり」という漁法にチャレンジしました。2泊3日のプログラムなので、山や川で遊んだ後は、地元の民家に民泊します。これがこのキャンプの特徴でしょうね。リーダースタッフと呼ばれる大人のスタッフ1人と、子どもが2～3人が泊めてもらうのですが、夜に昔使ったという道具類などを見せてもらったり、お風呂を沸かすための薪割りなどを体験します。

……村で暮らす人の生活も体験するのですか。

人間も自然の一部である...ということ伝えていきたいのです。それに、昔ながらの道具を見たり、生活にふれることで、子どもたちが大きくなってから、その体験が生きてくると思います。薪を使ってエネルギー源を得る方法があったということが頭の片隅にでもあれば、新たなエネルギー源を考える時のヒントになると思います。今、木材を加工したペレットやバイオマスというようなエネルギー源が注目を浴びているようにね。私たちは、子どもたちがいるんな価値観にふれられる環境の場を提供したいのです。

大杉谷自然学校事務局長



大西かおり さんに 聞く

……薪風呂などの体験ならば、民泊しなくてもできるのでは？

確かに空き家を使って風呂炊き体験をしたりできますが、それは生きたものではないと思います。実際に、生活の中に取り入れている人がいてこそ、その体験が重要性を帯びてくるのです。

……それは地域の人との繋がりがあってこそ、できることですね。地域との繋がりが無ければ、大杉谷自然学校は価値を失いますね。地域の人々が生きている姿勢を見せるだけでも、子どもたちは何か感じるものがあると思います。そういったものも総合的に伝えたいと思っています。

……大人の自然体験はどのような内容ですか？

大杉谷、大台ヶ原登山とか、ハイキングなどです。

……登山ツアーを企画している団体は他にもありますが、価格などの差は？

登山で地域興いをしているところはたくさんありますね。宮川村内だけでも他に2つの団体が行っています。そちらは価格が1000～2000円程度で、募集人数は30～40人という規模です。

……大杉谷自然学校の参加費はおいくらですか？

日帰り4000円です。スタート当初は、値段的な問題もあって、申込みが少なかった時期もありましたが、今年になって、キャンセル待ちになるまで集客できるようになりました。

……人気の理由は？

募集人数が15人前後と少ないので、個人対応できるということと、ガイドの質かなと思います。うちの事業はどれもリピート率が高いのですよ。

……ガイドの質と言うと？

大台ヶ原登山道に桃の木小屋というのがありますが、そこで24年間働いておられた森さんという方が、昨年からうちのスタッフになり、登山を担当しています。山に詳しい人ですから、人気なのかなと思っています(笑)

……募集人数が少ないのはなぜですか？

最初は「大人数を受け入れては？」という意見もありましたが、自然への負荷や参加者の満足度、私たちの思いが伝わる効果を考えると少人数制を取るしかないと考えました。

……自然保護活動はどのようなことをしているのですか？

昨年、宮川小学校4年生と一緒に「泣いている山を笑顔の山に」プロジェクトをスタートさせました。これは総合学習の時間を利用して、間伐作業など山の手入れをする活動です。学校裏のヒノキ山を、子どもたちの力で日本一の山にしようと、5割間伐を行い、光のたくさん入る健康的な山を目指しています。作業は地域の林業家の方たちに教わっています。

……プログラムはすべて大杉谷自然学校主催ですか？

受託事業もありますよ。プログラムとしては宮川村教育委員会や、地元の料理グループである「せせらぎ会」さんがいます。その他、研修事業なども委託として受け付けています。

……受託事業とは、場所やノウハウを提供するのですか？

その他、集客や広報も担当します。せせらぎ会さんから受託している「味の教育」プログラムを例に挙げると、「地域の伝統的な料理を伝えたい」というコンセプトを持ちかけられて、私たちがそれを環境教育プログラムにアレンジして実施するわけです。せせらぎ会さん

は「やりたい」という思いや料理の技術はあっても、教育的なプログラムとして具体化するノウハウは持っていませんから、そこを受け持つのです。料理を食べてもらう企画は、いろいろなところでやっていますが、うちでは食べるだけでなく、稲刈りなどの体験を組み合わせます。2004年1月には猟師料理を味わうプログラムを行います。当日は猟師さんにも来てもらいますし、撃ってきた鹿の解体もします。また、鹿は大杉谷付近では害獣扱いなのですが、なぜそういった問題が起こっているのかも話します。「味」ひとつとっても、総合的に環境教育の素材として成り立ちますし、「美味しいな」だけでは、帰って欲しくないなという気持ちはあります。

……せせらぎ会さんにしても、張り合いがあるでしょう。せせらぎ会さんだけではなく、地元の人に講師をお願いしていますが、「こんな話でいいの?」とおっしゃられます。でも、地元の方が何気なく行っていることが、子どもたちにとっては、ためになるのです。

官設民営という運営形式

……大杉谷自然学校はいつ、設立されたのですか?

平成13年4月です。官設民営のNPO団体として宮川村が設置し、大杉谷自然学校運営協議会という民間団体が運営しています。民間団体が専従職員を置いて経営するのは大変です。でも、現在、運営費の一部を宮川村に支援していただいています。他の団体と交流しますと、「うちはすごく恵まれているな」と実感させられますね。

……設立理由は?

これからは環境教育が進めていくことが重要だと考えた宮川村が、村としてできる社会貢献として思いついたのが、地域を環境教育の場として提供することでした。その一方で、過疎高齢化に悩む大杉谷地区としては、地域を元気にする場所が欲しいという要望があり、それらを背景として設立されました。

……スタッフは何人ですか?

事務局職員が私も含めて4人、研修生2人、非常勤1人の計7人です。私は地元出身ですが、それ以外は県外から来て、今は宮川村に住んでいます。

これからは環境教育を指導する職業が絶対に必要だと思いました。

……運営の苦勞などは?

やはり経営ですね。運営費、人件費を稼がなくては、というのがプレッシャーですね。

……行政からの評価はどうですか?

評価のポイントをどこに置くかが問題ですね。評価基準のひとつとして利用者数がありますが、うちは少人数制ですから…。また、教育的効果を基準にしようと思っても、効果が出るには非常に時間がかかりますから、これも難しい。あと数字として現れる評価基準としては事業収益があると思うのですが、これもちょっと評価が低いところかもしれません。ですから、いろんな部分を見て、総合的に評価してもらえればと思っています。でも、私は事業収益をあげていくことは、非常に重要な視点ではないかと思っています。

……企業のように利益のために数をこなす方向ではないでしょう?

伝えたい思いや、プログラムの狙いを達成するという目標がありますから。プログラムを機械的に売れば経営的には維持できると思いますが、「それはどうかな?」とい



宮川小学校総合的学習「泣いている山を笑顔の山にプロジェクト」滑り伐作業の様子。



孫さんクラブ「幻のサバ鮎の謎」地元の木船漁法体験中。

う気持ちが自分の中にありますね。NPO活動は利益を追求することではありません。ただ、運営費、人件費はある程度、自分たちでまかなう方向が必要だと思います。

……今後の方針を教えてください。

プログラム数は現状維持の方向で考えています。これからは今の事業にプラスして研修事業や、学校の総合学習の時間を企画する委託事業を増やしていきたいと思っています。

……スタッフは他地域から集まってきているということですが、大杉谷自然学校は全国的に評判なのですか?

三重県内よりも、全国の方が有名かもしれません。この取材をきっかけに県内の方とネットワークが組めればと思っています。

大好きな宮川村で仕事がしたい

……大西さんは宮川村出身なのですね。

ずっと宮川村で生まれ育ったのですが、進学の手合でちょっと外に出ていました。でも、この村が好きで、就職は絶対に地元でしようと考えていました。ただ、過疎高齢化の村ではなかなか良い仕事が無くて…。そんな時に目にしたのが日本環境教育フォーラムがプロ養成講座を開くという新聞記事でした。もう「これしかない!」と即決でしたね。これなら地元でもできるし、これからは環境教育を指導する職業が絶対に必要だと思いました。

……どちらで勉強されたのですか?

東京の日本環境教育フォーラムで研修をし、そこから関連機関である、北海道の黒松内ぶなの森自然学校で1年修業しました。

……その時には大杉谷自然学校の設立を知っていたのですか?最初はフリーで仕事をしようと思っていたのですが、ちょうど設立の話があって、研修終了と同時に就職しました。

……仕事に対する周囲の理解はどうですか?

同居している祖父は今でも理解していません(笑)。「いつになったら、本当の仕事に就いてくれるんだ」って毎日言ってます。家族でもこうですから、他の方に知ってもらうのはどれだけ難しいか…。これから多くの人に、この職業が責任あるプロの仕事として認めてもらいたいと思っています。

大杉谷自然学校

住所 / 519-2633 多気郡宮川村久豆199

Tel.05987-8-8888 Fax.05987-8-8889

E-mail osn@ma.mctv.ne.jp

ホームページ <http://www.ma.mctv.ne.jp/osn/>

大西かおりさんはこの人を **紹介** します。

西岡典洋さん

志摩郡阿児町にある横山ビジターセンター。西岡さんは体験と映像で伊勢志摩の自然を学べる総合施設であるこのセンターのスタッフをされています。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のご注意ください。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお願いします。

(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPOチームに連絡してください。

100

PRINTED WITH
SOYINK™

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。